

ユニオンフラッグベアラー レポート

試合日：2025/10/18(土)

対戦相手：Australia A



大役が決まったときは、どんな気持ちでしたか？

以前リーディングフラッグベアラーを務めていただいたことがあり、再びこのような貴重な体験をさせていただけることをとてもありがたく感じました。今日はユニオンフラッグベアラーに選ばれたので、初めて行く大阪の大きなスタジアムで大きな旗を持つことをとても楽しみにしていました。本番が近づくと緊張も高まりましたが、それ以上にワクワクしていました。

どんなことを体験しましたか？

私はオーストラリアのユニオンフラッグを持つことになり、他のユニオンフラッグベアラーの方々と4人でオーストラリアの旗を掲げ、登場しました。入場口からグラウンド上を歩き、両国の国歌斉唱のあいだはメインスタンドのお客様に旗がしっかりと見えるように旗を掲げていました。選手たちにとっては非常に大切な旗なので、落とさず美しく見えるよう頑張りました。

一番思い出に残っていることを教えてください。

フラッグを運んで止まる位置が難しく、はじめは少し戸惑いましたが、何度も練習を重ねるうちに慣れてきて、失敗が少なくなっていたことが嬉しかったです。私がフラッグの基準の位置だったので、間違えないようしっかり練習して、褒めてもらえて嬉しかったです。練習中に雨が降り出し、雨の中でリハーサルを行ったときは、水を吸った旗がとても重くなり驚きました。濡れると旗がたるんでしまい、きれいに見えないなどのトラブルもありましたが、雨天用の動き方も練習しました。本番の時には雨がやみ、旗も乾いていたので、万全の状態がフラッグベアラーとしての役目を果たすことができたと感じました。本番後に「完璧だった」と言ってもらい、とても安心しました。

今回の体験で、ラグビーに対する想いは変わりましたか？
体験した感想を教えてください。

私は今回、ユニオンフラッグベアラーとして、スタジアムの端の方に立っていたのですが、たくさんの観客の熱気や近くに立っている選手たちの迫力を間近で感じることで、ラグビーが本当に多くの人に愛され、人と人をつなぐ力を持った特別なスポーツなのだと実感しました。また、普段は入ることができないスタジアムの裏側も見ることができ、試合が成り立つためには選手や観客だけでなく、運営スタッフなどサポートする多くの人たちの協力があることをあらためて感じました。今回の体験を通して、ラグビーの奥深さ、魅力にさらに気付くことができたと思います。ありがとうございました。

当日の思い出の絵を描いたり、写真を貼ってください。

